

# マイケルJローズ ニュースレター 2007年 夏号



愛と光の皆さんへ

お元気ですか？

春にはマイケルのセミナーに参加するためドイツへ行ってきました。義母の突然の訃報でニュービギニングの3日目の朝には帰国しました。短い期間でしたが、私にとってはたくさんの冒険をしてきました。豊かな経験となっています。

義父母との関係では、ご縁をいただいたときから無理をしない、気を使わない、あるがままでいこうって決めてその通りにさせてもらいました。二人とも、ありのままを受け入れてくれました。とても軽やかな関係でした。感謝します！

春にニュースレターを発送してから、まだ4ヶ月も経っていませんが、たくさんの変化が起きてドイツへ行ったことがはるか遠い日のようになっています。

そして、生命の流れに対する信頼は深まっています。

まだ、はっきりとわかっていませんが、感情は大切な働きをしているようです。

これからの私の課題は自分の感情をしっかり感じてあげることです。微細な感情です。無意識に却下する感情です。感じてあげて、手放します。

とてもうれしいことがありました。すぐ上の姉の意識が広がりつつあります。

因果と善悪の価値観をもって、一生懸命学びながら、よりよい生き方を求めて生きていました。

その姉の中に軽やかさが広がりはじめています。

更なる広がりをもった真実が姉のハートにタッチしたようです。姉のタイミングが来たようです。

制限を超えて、もっと広くて自由な世界に対して意識が広がりつつあります。

誰もがすばらしい神のエネルギーであり、誰をも自分の上にも下にもおかない世界。

姉には苦しいことがたくさんあったので自分の現実自分が作っていることを認めることはとても勇気のいることだと思います。激しい感情の渦の中に巻き込まれたこともたくさんありました。

でも、すべての現実自分が作っていること・そこへのシフトができそうです。

自分で作っている壁を壊して、意識が大きく広がりつつあります。軽やかになっているのが分かります。

とても素晴らしい変化です！

あらゆる瞬間のあなたが、あなたの現実を創っている。

その通りだと思います。だからこの瞬間を大切に、素晴らしい日々を創造したいと思います。

皆さんも、自由に、のびやかに、素晴らしい日々を創造していきましょう。

この夏号ニュースレターを初めて読んだとき、驚きと同時にうれしくて心がワクワクしました。

マイケルの変化には本当に驚かされます！

秋には、大きく変化したマイケルが来日します。

絶えず変化するマイケル、ありのままオープンなマイケルに会えるのが楽しみです。

皆さんも、是非、セミナーに参加してくださいね。

新しい出会いと新しい再会を楽しみにしています♪

たくさんの愛と感謝を込めて やすみ

# マイケルのお話

by マイケル



2006年の半ばから2007年の半ばの1年は私の人生において信じられないほど素晴らしいものとなりました。トリーニーの突然の死が、想像もできないくらいに内なる成長への触媒となりました。テレバシーで彼女と通じ合うことで、私は普通よりもはるかに早くスピリチュアルな成長ができました。

その成長は、ただ起きました。確かに、深い感情的な痛みには私は反応しましたが、何も計画していなかったし、何らかの結果を期待も、求めもしていませんでした。

2007年度の「ニュービギニング」5日間インテンシブまでの旅で経験したことの一端を書きます。しかし、あなたがここで読むことは言葉に過ぎません。私が経験し、今も生き続けている現実についてのたんなるヒントです。

(訳注:リトリートは、ニュービギニングへ、その後インテンシブへとマイケルの変化と共に名称も変更しました。日本で秋に開催されるインテンシブのテーマは、「ニュービギニング」から「愛のパワー」に変更になりました)

この話はトリーニーの死から始まりますが、その事はたくさん話しましたし、執筆中の「Through the Eyes of Pan」にもたくさん書きました。今年度の旅が始まる前までの私の経験は、自分自身と他者に対して、以前よりもはるかに深いレベルで私のハートをオープンにするプロセスだったということだけを伝えておきます。

私の旅は南アフリカから始まりました。70歳の誕生日の翌日、私は南アフリカに向かいました。(70歳といっても、50歳になったばかりのようです!)そこで下痢が始まりました。それから、風邪もひいてしまいました。

忘れないでください。何事においても、偶然も不慮もありません。

南アフリカで、その症状はセミナーの妨げにはなりません。次の旅先であるオランダでも、でした。ただ、感情的にはとても無防備で傷つきやすくなっていました。インテンシブの間、少し気分が悪かったのですがさほど気になりませんでした。それどころか、新生さ、バイタリティ、強さを感じていたので、私のペースが落ちる事はありませんでした。

オランダのナナとアンキが3日目の午後のセッションの前に私の部屋に来て、歌を歌ってくれました。その歌は、トリーニーとの肉体を超えたメタフィジカルな新しい関係について書いた私の詩でした。彼らの歌が、私の成長のプロセスを促しました。

その後、彼らはセッションが始まる10分位前に部屋を出て行きました。私は泣き崩れました。セミナーが始まり、46人の前に立ったときもまだ泣いていました。トリーニーは「あなたが椅子に座る番よ」と言いました。(訳注:椅子に座った人に、参加者全員が一人ずつ、座っている人への愛を心から感じたとき、その愛を伝えるワークです)

私が椅子に座ると参加者一人一人が、私のところへ来て私に愛を伝えてくれました。それまで、誰かが私への愛を表現したとき、私はいつも個人的なこととして受けとめていませんでした。彼らの言葉を、割り引いたり、避けたりしていました...今回、私はハートをオープンにして受け止めました。信じられないくらい素晴らしいことでした!

次の旅先はイギリスに住んでいる兄のところでした。そこで姪のセシリアとゆっくり過ごしました。彼女は、私のリトリートを数回受けており、私と大変よく似た感じ方、考え方をします。トリーニーが亡くなる前に、体調の異変が始まったのはドイツでした。そのとき彼女はトリーニーと共にいたのです。

イギリスにいる間、私の体調は完璧でした。

次なる場所はスイスで、3日間のセミナーがありました。そこでも、体調は良く、その後、ドイツへ向かいました。ドイツでののはじめの3日間は、「メタフィジカルな自然」について、後の2日間は自然界の偉大なるスピリット、パン共におこなうネイチャーセミナーでした。

その後、インテンシブが始まる前に、3日間の休息がありました。セミナーが近づくとつれ、去年のショックとトラウマ

を思い出して私は感情的になりました。近づく嵐が見えるように、私の中ではっきりと病気の始まりを感じました。セミナーの前夜は熱っぽく、次の日はもっとひどくなりました。肺の中で、ゼーゼーと音がして咳をすると痰がでました。私は、これまで10年に1度か2度風邪を引く程度でした。しかし、56人の熱心な参加者を前にして、休息はできません。私としては、セミナーはうまくできました。おそらく誰もそれほど症状がひどいとは思っていません。

しかし、日を追って、私の症状は悪くなりました。毎晩、熱は高くなり、寒気がして、体は汗でびしょ濡れました。それでも、毎日、新しいエネルギーが私を通して注がれているかのように、私は力強く感じていました。

参加者は、とても強い臭いがするハーブの混合液、錠剤、エキス、症状を緩和するものをたくさんすすめてくれました。特に、ドイツ人女性のワルパギスは私がどこにしようとしてハーブの調合液を私のすぐ手の届くところに置いてくれました。ヒーリングをしましょうかと、親切に言ってくれる人もいましたが、それは断りました。症状が軽減されるのはうれしい事なのですが、何かのプロセスの途中であることを深いところで知っていたからです。

日ごとに症状が悪化しているにもかかわらず、ドイツのインテンシブは大変パワフルな5日間となりました。しかし、セミナーが終わったとき、私は汗をかいて震えていました。その晩は、数時間しか眠れないまま私はフランスへ向かいました。

フランスでは友人のマーティンとフィリップが迎えてくれました。滞在先は、アルプスの山の中、1300メートルの高さに位置していました。私は、出てくる症状に身をまかせました。セミナーが始まるまでに3日間もあるので、回復するだろうと思いました。目から勝手に涙が流れ始めたとき、マーティンがレイキをしてくれました。

トリーニーとわかるエネルギーが私と共にいました。「今回の旅は、体に現れているあなたの悲しみをすべて解放つ機会なの。あなたが自分の快適な場所から離れたときにしか起こらないことなの」彼女は続けます。「私達二人が、毎年一緒に訪れた場所へ来ているせいで、感情的な痛みがすべて湧き上がってきているのよ。もうすぐ、あなたは咳とともに黒い粘液を吐き出すわ。それであなたの悲しみは解放される。手放すのよ。でも、まず、自分の悲しみを知ること、そして、その悲しみに、深く、深く触れて、その隠された真実を経験するのよ、あなた」

私は、悲しみに深く触れました。そして、悲しみが、私の魂に十分届くのを受け入れました。ショックでした！悲しみの中心には、解しがたい喜びが渦巻いていたのです。私が悲しみに触れたとき、私の存在のなかに喜びがこだまして鳴り響いていました。その瞬間、私の悲しみは解放されました。

「よくできたわ、あなた。大きな転機のしるしよ。もうすぐ粘液が出てくるわ。そうすれば、確実に回復に向かうはずよ」

次の日、咳をした時、気味の悪い黒っぽい色の粘液が出てきました。それからやっと、私の体は回復に向かいました。(後でセラピストから聞いたのですが、とても深い悲しみは、肺に強く影響を与えるそうです)私は、長年の間で、おそらく生まれて初めて、最高の軽やかさ、軽やかな存在の自分を感じました。

粘液とともに何世もの間に積み重なった悲しみが、私の悲しみとともに解放されたことがわかりました。

実は、私がドイツを離れる頃には、私の声は普段の大きな声に比べると声とは言えない声になっていました。それで、はじめの数日は、通訳してくれるソフィーの近くにいてかすれ声で話しかけ、その声を彼女が大きな声で訳してくれました。3日目には、かなりよくなりました。

数日後、私はジュネーブからミュンヘンに、ミュンヘンからデンバー、そしてデンバーからモンタナ州ミズーラへと飛行機で移動しました。合衆国に入国するのは大変なことです。入国の際にどうしてアメリカに来るのかなど、いろいろ質問を受けている人たちの多くは、過度の質問にプライドを傷つけられ怒っているように見えました。

恐れの結果です！

ミズーラの町で頼もしい友人であるダニエルとセミナー主催者のキャロリンが出迎えてくれました。ニュースレターを読んでいる人なら彼女のことを知っているでしょう。(訳注:キャロリンはニュースレターの編集にたずさわりのRoadway U.S.A.の主宰者。マイケルがセミナーを始めた頃より、アメリカでのセミナーを主催しています)私たちは、グレーシャー国立公園から車で1時間のところにあるダニエルの家に行きました。

その後、グレーシャー国立公園で、バイソンの群れの中をゆっくりとドライブしたりして、のんびりと過ごしました。インテンシブの前に、私には休息が必要でした。それで、ダニエルの家で数日ゆっくりと過ごすことにしました。

この数日の間に、全く思いもかけない、でも大変素晴らしい出来事が起きたのです。

キャロリンは、新しくできた高級ホテルの受付で働いています。彼女は、長時間の多忙な仕事が数ヶ月続いていたので疲れていました。私たちは、ソファと一緒に座って、ダニエルが撮ったマレーシア野生生物の記録映画を見ていました。そのとき、彼女を見ると、とても眠そうでした。

私は近くにあった枕を取り、私のひざの上に置いて、その上に頭を載せて休むよう彼女にすすめました。私の手はソファの肩に置いていました。腕が痛くなったとき、彼女のお尻の上しか手を置くところがなかったのでそうしました。20分ほど映画を見続けていたときです。私の手からキャロリンに強いエネルギーが流れ、そのエネルギーが枕を通して私のところへ返ってきているのに気づきました。

これが、性的なエネルギーであることに気づいて、私は混乱し、罪の意識を感じました。こんなこと起こるはずが無い。14年間、彼女とは親しい友人関係で、今までこのようなことは一度もありませんでした。

しばらくしてからキャロリンが起きました。

後になって、彼女は、ソファにいるとき、私が性的なエネルギーを感じたかどうか尋ねました。私は正直に感じたこと、今も感じていることを伝えました。

二人でこのことを話し合いました。二人ともどこへも行き場の無い性的な喜び、それはしかし愛のエネルギーでもありませんでしたが、そのエネルギーを感じていた事は明らかでした。

翌日、キャロリンの運転で、私たちはモンタナ州から南へと向かい、アイダホを通過してワシントンへと向かいました。シアトルの端を通過して、8時間後にはギグハーバーに到着しました。

翌日、インテンシブが始まりました。始めたときから、今回が一番パワフルなセミナーになることは明らかでした。新しい参加者もいましたが、これまで何度かリトリートに参加している人もたくさんいました。その日の終わりに、キャロリンが部屋に来て、インテンシブの録音から始まってさまざまなことを打ち合わせしました。彼女が出て行くとき、私たちはキスをしました。とてもパワフルな熱とエネルギーに、私は飛び上がりました。

私は、混乱し、困惑し、罪の意識を感じました。なんということ、私はトリーニーと結婚したのに。こんなことが起きるなんて。キャロリンが、部屋を出てから、私はベッドに入りました。数時間眠った後、私は突然目が覚めました。そばにはトリーニーのエネルギーがいました。私は彼女にキャロリンとの間に起きたこと、私がキャロリンへの感情に混乱していることを話しました。「ねえ、あなた。あなたはまだプロセスの途中なの。フランスでの解き放ちが終わりではないのよ。あれからプロセスを進めることができるようになっただけ。メタフィジカルな視覚を使って、私があなたに見せるものを良く見てね」

私は、彼女の言うとおりにしました。

地面から新鮮な水が湧き上がるのが見えます。多分、30センチくらいの高さです。それが愛の泉であると分かります。トリーニーを泉の水でずぶぬれにしながら、家族や友人には泉の水を、愛を手でかけて濡らしている私が見えました。トリーニーを除いて、他の誰に対してもどのくらい私が愛を制限しているかが分かりました。それから、トリーニーの周りをゆっくり渦巻く、もたえるような灰色のもうもうとした覆いのようなエネルギーに気づきました。ショックでした！トリーニーの声が聞こえるまで、私はその様子をじっと見ていました。

「何を見ているか分かる？」

勿論、分かりました。ひどい灰色の覆いは、感情的な不安と執着がエネルギーレベルでどれほど彼女を拘束しているかを表していました。その光景が色あせて、再び同じような場面が現れました。

そこにトリーニーはいません。私は息をのみました。愛の泉は先ほどと同じ大きさです。今回、私は先程より多めの水を家族や友人にふりかけていましたが、トリーニーがもういないのに、まだ私は彼女がいたところに愛の水を注いでいました。そこにはまだもやもやしたエネルギーが渦巻いていました。

私はぞっとしました。トリーニーがいなくなって1年がたつというのに、私の感情的な執着がしっかり残っていることに直面せざるをえませんでした。他の人と愛を分かち合う能力を制限していたことも認めざるをえませんでした。

「マイケル、自分が見ていることの意味をもう十分理解したわよね」私は、分かったよ、でもまだ感情的な執着が取れないと答えました。「手放して。この重たいエネルギーが私の周りからなくなってほしいの。これでは、私のことも、自分

のことも大切にしないことになるわ。これは、愛ではない・手放して。解放して！」

この啓示によって私の中で内なる変化を感じました。突然、手放せる、手放せる、そう感じたのです！「手放せるよ！」彼女に答えました。すると、見ている光景が変わり始めました。愛の泉の中から、ゆっくりと大きな灰色の岩が持ち上げられ泉の外へと落ちました。岩の周りから水が流れ落ちます。岩は、トリーニーに対する感情的な執着を表しており、この岩が、二人を留めておく錨であることが分かります。

すると一瞬のうちに、岩は光の閃光と共に打ち砕かれ飛び散りました。泉は大きくなり、水は 2、3メートルほど空中に湧き上がっています。ためらうことなく、私は泉の中に足を踏み入れました。

ベッドに横たわりながら、脳が新しく神経回路を開け放したかのように光が充満しているのを感じました。遺伝子が修復されたかのように感じます。ハートのチャクラが大きく開き、クラウンチャクラも開くのを感じます。優しく脈打っています……この状態が2時間ほど続きました。

この間、トリーニーはたくさん私に話してくれました。

二極性のこの世界で、ネガティブなエネルギーが強くなっていること。だから、愛のパワーがそれに伴って必要になっていることなど。

愛のパワー、これが私の道です。

私は、人々の中へ行く準備ができました。愛のパワーを世界へもたらす準備ができています。

これまで知っていたものよりも飛びぬけて素晴らしい愛、平安、喜びの中で、私は横たわっていました。

「ねえ、あなた。キャロリンを愛しているからといって、どうやって私たちの愛をおとしめることができると思うの？愛することによってしか愛は成長しないわ。愛が愛を小さくすることは決してできないの。あなたが、以前知っていたトリーニーは今の私とは違うのよ。あなたが長い間掴んでいた執着を手放してくれたから、私という存在の意識はすぐに大きく広がったわ。無論、あなたという存在の意識もね。あなたの意識は、素晴らしい跳躍をしたの。あなたもキャロリンも気づいていなかったけれども、あなたはいつもキャロリンへの愛の芽生えを抑圧してきたのよ。それから、キャロリンもね。あなたが、大人しくソファに座っているときその芽生えを、愛を自由にするために点火させたのはこの私なの。キャロリンを自由に愛していいのよ。私はあなたたちに祝福を贈るわ。つまり、私が、指揮をとったの」

もっと多くのことを話してくれましたが、要約するとこのような内容でした。その晩は、眠ることができませんでしたが、私はエネルギーで満ち溢れていました。ほとぼしる愛の川の中にずっといました。愛こそが、唯一焦点をあてる場所であることを知りました。愛のパワーを知り、愛のパワーを経験することに焦点をあてるのです。

愛そのものであることによってはじめて、人々のなかにある愛に本当に火をつけることができるのです。

私はもっともパワフルなワークショップを終えることができました。その間に、参加者は成長し変化しました。私はキャロリンに私とこれからの人生を共にしないかと尋ねました。「結婚してほしい！」と。答えは、「勿論、喜んで！」でした。このことでショックを受ける人がいるかもしれませんが、キャロリンを14年間知っている私に迷いはありませんでした。他の人の是認を受けようとするゲームの時間はありません。

私は、とても祝福されていることに驚きます。これまで以上にスピリチュアルにトリーニーとつながっています。私たちの関係は続きます。愛が私たちをつなげているのです。そして、私にはトリーニーを愛し、トリーニーに愛される美しい女性がもう一人いるのです。私を愛し、喜んで私の愛、人生、幸せを分かち合ってくれる女性です。

ここに書いた言葉は、私の経験を示しているにすぎません。愛のウィルスが広がる時が来ました。私は、新しい始まりの準備ができています。熱意や喜びとともに！思いもしなかったことです。

キャロリンと私はこれからの人生をとても楽しみにしています。これからは、「愛のパワー」5日間インテンシブをおこないます。来年からは、キャロリンも一緒です。準備はいいですか？

愛のウィルスはあなたを変容させます。

愛のウィルスを受け取れるくらいにあなたはオープンですか？

準備ができていたら、是非、セミナーでお会いしましょう。

愛と光の中で マイケル



## キャロリンから

by キャロリン・シルバー



皆さんにとってマイケルと私の関係は、とても短期間で起きたことのように思えるかもしれません。(何人の人がまだ驚きで口を開けたままになっているのではと思います)確かに、その通りです。でも、長年私たちは友達としてとても親しくしてきました。いつも、もっともつらいことも、たくさんの楽しいことも、お互いに知っています・・・それで、この最後のステップの“恋に落ちる”はとても小さなことでした。努力もなく、ごく自然に起きました・・・とても新しく感じると同様にずっと前からのように感じています。

はじめの数日間、さまざまな感情が湧いてきました。しかし、罪の意識や恐れに邪魔されることなく私たちの愛の流れを受け入れた瞬間から、愛は急激に大きくなりました。お互いに新しい目で向き合いました。

インテンシブが終わる頃には二人のエネルギーがとても強くて、部屋の中央に大きな象がいるのに、誰も気づかないふりをしているようなものだったと長年、ローズウェイ U.S.A を支えてくれているキャロルが話してくれました。

皆さんの多くが知っているように私は結婚生活で長年、苦しみました。ジミーとの関係は終わっていました。10ヶ月余り再び一緒に暮らしてみましたが、今回は痛みの無い穏やかな関係の中で、やはり二人が共に生きていくのは無理であることをお互いに確認しました。

私たちの子供たちも、それぞれの思いの中で、マイケルと私が共に生きるようになることは、もしかしたら、ではなく、いつだろう・・・と感じていたそうです。友達はだれも驚きませんでした。マイケルと私だけが、知らなかったのではと思うくらいです。

タイミングは完全です。いつも完全です。すべてがうまく流れています。キャロルは丁度、長年の教員生活を終えたところです。彼女がローズウェイ U.S.A.を引き継いでくれます。私もオーストラリアから、私にできることをしていきます。

トリーニーが話してくれました。このことは、彼女が亡くなる前から、密かに進展していたと・・・そして今は、思っていたよりも急速に展開していると。私は、8月の終わりにはオーストラリアに引っ越します。

私は、生命の流れの中に飛び込みました。

数週間前には、こんなふうになるとは想像もできませんでした。

あなたたちの愛と喜びを、私たちの愛と喜びを、分かち合えますように！ 愛と光の中で キャロリン

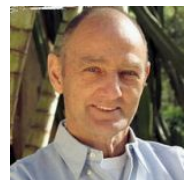
あなたを愛してください

あなたと共にいる人を愛してください

あなたがしていることを愛してください

## 質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

### 質問: 他人と目と目をあわせたままにしていることが、どうして難しいのでしょうか?

**洞察:** まず、第一にそれは自分自身との関係に理由があります。もし、本当に自分のことが好きで自分を認めている人なら、長い間目を見つめあうことに、とてもオープンです。自分のことが嫌いな人は、相手が自分の内側を見て、そこに嫌いなものを見るかもしれないという恐れを抱いています。私たちは、見つめあうことを避ける傾向があります。自分に攻撃的な侵略から身を守るために目を閉じる人たちがいます。防衛的になるのです。

防衛的な人は、決して長い間目を見つめ合うことはしません。

好戦的な人は、アイコンタクトを、他人を支配するための道具によく使います。

二人が魂のレベルで深く愛し合っているとき、長いアイコンタクトは言葉を超えて愛を分かち合います。そのようなアイコンタクトは二人の間に偽りも、隠すこともないことを示しています。オープンで、愛が流れているだけです。

目は大変パワフルな言語です。私たちが思っている以上に、目を使って表現しています。

本当のことを話しているかどうか人にたずねるときは、目を覗き込みなさい。もし、本当なら目をしっかり見ましょう。そうでなければ、目を合わせようとはしないでしょ。

あなたの目だけをじっと見てみなさい。そのとき容貌が気になる人は顔を何かで隠してください。そうすると、あなたの容貌を批判することはありません。ただ、鏡の中のセルフとアイコンタクトするのです。できるだけ長く。すると自分についての驚くような洞察が湧いてくるかもしれません。質問しないで、特定の答えを求めるのではなく、ただ起きてくることにオープンでいるのです。

あなたの目を覗き込んで、あなたの魂を見つめるのです。自分の目を見ると、あなたの魂があなたを見つめ返しているのが見えます。すると不思議な感動が湧いてきます。

定期的にそうすることで、あなたは驚くような内なる自由を見出すかもしれません。

でも注意してください。目を見て、決して判断したり批判的になったりしないことです。ただオープンに、愛の気持ちからそうしてください。

### 質問: より偉大な現実への手がかりもなく集合的な社会意識の幻想にどっぷりつかり、彼ら自身の現実を自分が作り出していることに気づかないまま、肉体的、心的、感情的に苦しんでいる人たちに、どのようにして真理を伝えることができますか?

**洞察:** 真理はいつも真理です。しかし、タイミングでない人には、それは真理となりません。これは、絶えず進行中のプロセスといえます。

私のことと言えば、一年前だったら想像も及ばない真理のレベルに対して、今はオープンになりました。

どんなことであれあなたに苦しんでいる友人や親戚がいるのであれば、それは彼らが真理を知らないことにいつも起因します。自然の法則を無視するような生き方をすれば、その行動の結果を受け取ることになります。

真理は静的ではありません。真理は、絶えず進化し、絶えず成長する生命の原理を反映したものです。

あなたの人生が大きく広がると、真理はそのことを反映します。

真理への認識の度合いからいうと、真理の最前線からは、はるか後ろに私たちはいます。

しかし、セルフの中に真理の広がりを見出すとき、それは新しく新鮮で、あたかも生まれたばかりの真理のように感じます。そして、私たちの真理の経験と表現において、その通りであるといえます。

真理から切り離されている人たちに真理を伝えることについてですが、言葉を使わないようにしてください。優しさをもって彼らが今いる状況を、あるがままを受け入れ、その人の無知からくる結果に対する慈愛をもって伝えてください。

この地球を、宇宙の学校の一つとみなすことができます。あなたが1年生を卒業して2年生になったとき、1年生の人たちが何世もの幻想から覚めたときどんな風を感じるかを知る知恵をあなたは発達させています。富と成功という幻想を追い求めたいくつもの人生、あるいは自分のレッスンに焦点をあてることを決して思い出せなかった人生がありました。原因と結果はとてもパワフルな教師ですが、うわべの楽しみを求めることにあまりにも熱中しすぎて因果関係、原因と結果のゲームを忘れてしまっている人たちがいます。

あなたが能力の及ぶ限り真理を生きるなら、あなたの生き方が、少しでも真理に対してオープンな人たちに強く影響を及ぼすことが、伝わるのが分かり、驚嘆するに違いありません。

私たちは不滅の存在です。どんなに長く時間がかかろうと、“High school”に達するまで、さまざまな学年の生徒です。そこに達すると、学んでいることを教えるようになるでしょう。

マイケルに質問のある方は左記のアドレスにご連絡ください。英語での質問はキャロリン宛：  
[carolyn@roadswayusa.com](mailto:carolyn@roadswayusa.com) 日本での質問は、左記へ：[yasumi@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:yasumi@galaxy.ocn.ne.jp)

## オフィス便り by トレイシー・ローズ



オーストラリアは、冬です。寒くて分厚い雲が空を覆い、雨が降ります。今日、旅行代理店で「寒いですね」と私が言ったとき、いつも担当してくれる人が「ほんと、陰気な日ね」と答えました。私は、すぐに「天気のせいであなたの一日を憂鬱にしちゃ駄目よ」と言いました。雨は、世界中をめぐっています。そして、今は、私たちのところで降っています。父も私も雨が大好きです。

林も庭も、大地に良く染み込んだ雨によく応えています。野生動物も、新しい成長を喜んでいますが。庭の手入れをする人たちも、です。乾期が長いときは、この辺りの動物は、普段食べる食物がなくなるので、生姜属の多年草や花の根で代用します。

少し自慢に思っている事があります。最近、雄の七面鳥が、庭の真ん中に大きな巣を作ろうとしていたのを止めさせたことです。七面鳥は、一度巣作りに取り掛かると決して止めようとはしません。巣は高さ何メートルもあって小高い盛り土の山のように見えます。七面鳥の雌なら誰でも、そこに卵を産むことができるようにするためです。卵を産んだ後、雌は、雄に後の仕事をまかせます。雄は、巣と卵を他の動物から守ります。表面のマルチを動かす事によって巣の温度を適温に保ちます。とても勤勉に働くのです。卵が孵って雛になった後は、自力で生きていかなければなりません。

先日のことです。七面鳥がすぐ近くでマルチや砂をひっかいて盛り土を作ろうとしていました。そこは、たまたま小道の上でした。私は七面鳥を追い払って、彼のせいでむき出しになった木々の根の周りにマルチと砂をシャベルで戻しました。そして、携帯用のフェンスを組み立て、マルチの上には重たいものを置きました。

翌日の事です。雄が戻ってきて、また巣を作ろうとしていました。

それで、もう一度、盛り土をもとに戻して私は最後の試みをしました。次の数日間、猫が用を足したトイレ用の砂をその辺りにまいたのです。それ以来、彼を見かける事はありません。

私がボランティアで働いているオーストラリア野性動物病院を新しく建て始めました。その進捗状況は遅く、これから何ヶ月もかかりそうです。回復しつつある動物たちを囲うケージ、それから、新しい病院を建築中です。我が家で飼っている爬虫類たちは元気です。そう思います！今のところ、半冬眠状態のままです。冬眠と良く似ていますが、暖かい日は日光浴をしたり、おそらく食べたりするために外へ出てきます。冬眠の間は、マルチの下や、木の洞の中で休んでいます。

父が海外へ出かけた後に、私はマリーリバー亀を手に入れました。多分、彼女です。体長25センチ、横幅は20センチ



チほどです。彼女は、ブルータンゴカゲの雄と雌、その子供たち4匹、そして12匹の大きな金魚と共に暮しています。皆、仲良く、です。亀は、半冬眠をしますが、冷たい水の中では少食です。

母が亡くなってから丁度一年目です。私を感じていることを書きます。知っている方もいますが、母がなくなった日、6月11日は私の誕生日です。誕生日はどうすればいいのかわかりませんでした。半日、誕生日をお祝いして、半日、悲しむ？一日中楽しむのがいい？どう感じたらいいのかわからないので、家族にも友人にも何もしないでとお願いしました。誕生日が近づくほどに、私はだんだん不安になってきました。

でも誕生日が来たとき、驚きでもあり、うれしくもあったのですが、他の1日となんら変わりませんでした。6月10日の夕方にはインフルエンザにかかり始め、続く2週間、熱が続き、そのおかげで私の悲しみは解き放たれました。

すっかり元気です。

私たちの生活にキャロリンが入ってくることを、家族中が大歓迎しています。私たちは皆、キャロリンとは長年の付き合いで、彼女を愛しています。母が亡くなってから、いつかこうなるのではと予期していました。

皆さんに、愛を送ります。

トレイシー・ローズ

#### トレイシーからホームページに関するお知らせ

##### ☆電子ブック

ホームページから電子ブックとして父の本を入手できるように準備しています。

ダウンロードできるように、です。新しい書籍も、以前の書籍も格安で読むことができます。

電子ブックは現在、「True Prosperity」「マジック・フォーミュラ」「人生の答え」の三冊です。

書籍でのお求めは、左記へ。james@silverroads.com

残念ながら「ジ・オラクル」と「真理を生きる」はダウンロードできません。

これらの書籍の注文先は office@michaelroads.com へ

##### ☆リンクのお願い

ローズウェイとテーマが同様のウェブサイトをお持ちの方は、www.michaelroads.com へリンクしてください。リンクを希望される場合は、まずウェブサイトアドレスを送ってください。リンクするかどうか検討させていただきます。自国語でローズウェイのウェブページを持っている方も、サイトを更新していますので、時々確認をお願いします。

ジ・オラクルからの言葉も、ウェブサイトに掲載していく予定です。セレンディピティの写真もいつも更新していますから、見てください。

「勇気と実行力がなければ、セルフの真理を知ることはできません」……マイケル

## ゼンの子育て by カトリーナ・ローズ



掘って、掘って、掘って……。掘ってが、私の新しいマントラになりました。日がな一日、ゼンは「マミー、掘って」と繰り返します。ゼンは掘ることが大好きです。今、彼の一番の関心事です。土を掘る、庭のマルチを掘る、浜辺の砂を掘る。砂の城にトンネルを作る、プールを作るために穴を掘る、掘る……。数ヶ月前から、ゼンの「掘って」に抵抗するのを止めました。掘りたくない。飽き飽きしました。でも、ゼンは大好きでした。私と一緒に掘ることがとても好きなので、「嫌よ」と言い続けることができませんでした。それに内なる声が、何かがそこで私を待っているから行って掘るようにと小

声でうるさく言い続けました。

それで、ラッセルに「掘るのは嫌と断って、私のしたいことをしたほうがいい？それとも、したいことを手放して、掘りに行ったほうがいいのかと思う？あなたはと思う？大きな視点から見ると、ゼンと一緒にいて何かを学ぶ必要があるみたいなの」と尋ねました。ラッセルは「その必要があると僕も感じるよ」と答えました。それで、私は掘りに行きました。砂の中に座って、掘りながら自分を観察しました。退屈になり、怒りが湧いてきて、家に帰ってお茶でも飲みたい、手を洗って、何か他のことをしたい、でも、座って掘りました。

自分を観察して分かったことですが、私はただ在ることには問題があり、何かをすることにはとても長けていることが分かりました。ゼンは掘っているときこの瞬間にいます。この瞬間にいますので何時間でも掘り続けることができます。掘っていないとき、彼は次から次へとすることを変えていきます。ゼンは掘っているとき、本当に禅になります。実際のところ、彼がすることすべてが禅です。何をしてもしていることに焦点があたっています。マインドはおしゃべりしていないし、どこか他へ気持ちが行くこともありません。全面的に彼がしていることに焦点があたっています。素晴らしいと思います。私にとって偉大な先生です。

私はたとえば、怒りや、イライラを感じ、掘ること以外ならなんでもいいから他のことをしたいと思います。でも、おかげでこれまでずっと私が避けてきたことをするとどんなふうを感じるか、よく分かりました。

私は自分をワクワクさせることだけをしたいと思ってきました。それ以外のことは退屈で、する価値のあまりないものでした。今、私がしたくないことが大好きな子供がいるおかげで、どんなことに対しても賞賛する方法を見出す機会があります。

働いていたとき、上司たちがよく言っていた言葉です。「カトリーナをイライラさせたかったら、窓の無い部屋に閉じ込めてクリップの数を数えさせるといい」と。その通りでした。ありふれた仕事は私にとって価値のないもので、イライラしました。時間の無駄と思うことをずっとしていると気持ちのうえで参ってしまいました。

私は、ゼンと土を掘り返しています。私にとっておもしろくないことをしながら、意識してこの瞬間にしようと思いました。ある日、怒りっぽくなったりイライラしたりする気持ちを乗り越えたとき、突然、私は掘って、道を作り、丘やトンネル、坂を作り・・・時間は消えていました。

そのとき、ゼンが「おいで、マミー。ボール蹴りしよう」と言いました。ゼンが体をゆすったとき、かなり長い間掘り続けていたことに気づきました。私は、掘ることに焦点をあてこの瞬間にすることができました。

時間の無い時が過ぎて、ゼンは次なる遊びへと向かいました。「ちょっと待って、まだ掘っているのだから」そんなふうに感じました。

毎日、ゼンと掘りに行きました。さまざまな感情を再び感じました。ただ、前より気持ちは楽になり、ゼンを愛と喜びで見ている私がありました。それに、彼の喜びはとても感染しやすいものです。毎日私たちは掘っていました。

そして、ある日、夢を見ました。夢の中で私は友人とカフェに出かけました。そこでも、私は土を掘っているのです。それで、彼女は驚いて「何をしているの？」と聞いている夢です。

目が覚めたとき笑ってしまいました。それほど掘ることが私の中に入り込んでいるのです。家のそばにある新しい建物用敷地のそばでよく掘りました。それで、建物の現場監督がゼンを名誉あるメンバーに加えてくれてヘルメットをプレゼントしてくれました。おまけにゼン用に穴を掘ってくれて、泥や石や砂を入れてくれたのです！そこへ遊びに行かない日は、どうしたのだろうと工事現場の人たちが心配するくらい、よく掘りに行きました。

物事には裏と表があります。今、私は何をしても、そのことに意識を向ける、この瞬間にいて、その中に喜びを見出すことを学びつつあります。でも、なんとなく気力がなくなり始めました。私の毎日は、ゼンにせがまれたことに費やしているように思えるのです。その合間をぬって料理、片付け、などなどをしているように感じました。悲しくなってラッセルに「いけにえの子羊になった気分よ。これ以上、まだ手放す必要があるの？」と言いました。

翌日、友人が遊びに来ました。彼女の息子は一日中レゴで遊ぶのが大好きです。彼女との会話の中で、私が犠牲者になっているという言葉が出てきました。ショックでした。ゼンの必要を満たすために(でも以前嫌だったことを楽しくする方法を学びましたが)私を捧げて、私自身の感覚を失っていました。とても疲れを感じて、横になったらもう起き上がれないように感じました。

私は、感じていることをラッセルに話しました。私はやりすぎたようです。それ以来、私は自分のタンクを満たすために、ゼンから離れてゆっくりする時間も取り始めました。

今、バランスをとり始めています。私は、掘ることができます。そして、私がしていることから気持ちが変わるかどうか、意識しています。私自身にも滋養を与えること、ゼンの必要なことを満たすと同時に、私自身の必要性を満たすことも大切であることをゼンに示すことも学んでいます。

私の場合は、「掘って」がこの瞬間にいるためのマントラでした！

愛を込めて カトリーナ

## マイケルから by マイケル



前回のコラムを読んだところですが、私の人生の変化に、自分でも驚いています。その中で、もっとも偉大な変化、偉大な学びは愛についてでした。この言葉は、普段、簡単に、軽率に、よく知らないままに使われます。

決して批判しているのではありません。

数ヶ月前まで、私の愛の表現といえば、愛を小さく分割し、少しずつ分けていくというものでした。私の愛の秤は、金魚への愛、猫への愛、植物と池への愛、孫への愛、子供たちへの愛、勿論、目盛りをはるかにオーバーするトリニーへの愛といった具合です。勿論、自慢ではありませんが、恥ずかしいと思っているわけではありません。

私のこのような愛にもかかわらず、私は人間として成長しました。そして、自分のために変化と成長をもたらすことを決してやめませんでした。トリニーからの贈り物は日ごとに大きくなっています。彼女への愛と尊敬も深くなっています。たくさんある学びの中で、最近トリニーが教えてくれた一番の学びは、本当の愛は、決して愛を小さくすることはないということでした。

人を真に愛することによって、あなたは、水の流れのようにすべての生命に注がれている愛の流れとつながるので

す。私が愛のこの偉大な流れに足を踏み入れたとき(意識のコラムを読んでください)、あまりにも大きな愛の経験だったのでハートがはちきれないように感じました。

ハートのチャクラがオープンになる、それは途方もない経験です。

オープンになると、自分が関わっている相手が、まるで自分自身であるように感じます。

あなたは、自分が関わっている相手そのものであることを知ります。

そして、自分が関わっている相手が、自分そのものとなるのです。

あなたは愛をたくさんのレベルで経験します。私たちの感情的なつながりで小さくなった愛を経験するのではなく、本来のエネルギーの流れとして愛を経験する、それはとてつもなく素晴らしい愛の経験となります。

キャロリンは私が愛する女性です。この愛は、私がトリニーを愛した愛し方とは違います。私は、変わりました。だから私を通して流れる愛は、これまでとは違う私を経験します。私自身への愛もまたこれまでと違います。これまでの愛し方よりももっと純粋に、パワフルにキャロリンを愛しています。なぜなら、以前の私とは違うからです。

そして、私は、トリニーを、これまでよりはるかに純粋にパワフルに愛しています。

今、私の人生には素晴らしい二人の存在がいます。一人は、私の妻だった人、それから、もうすぐ妻になる人。トリニーとは広がりゆく愛に基づいたメタフィジカルな関係です。キャロリンとは、広がりゆく愛に基づく肉体的、感情的、それからメンタル的、スピリチュアルな関係です。二人との関係をもてることを私は大変光栄に思います。その上、二人の存在は、お互いに、愛と尊敬を分かち合っているのです。

愛を表現し、愛を受け取る、それは大いなる愛のさらなる深まりです。

あまりにも祝福が大きくて、私の感謝の気持ちを言葉では表現できません。  
私のこれからの人生に対して畏敬の気持ちでいっぱいです。  
二人の教師、日々の現実の中にいる教師とより大きな視野を示してくれる教師。  
ほんの一年前よりも、私の視野ははるかに大きく広がりました。  
私の神秘的な認識が深まっているので急速にその視野は広がりつつあります。

これ以上何が言えるでしょう！キャロリンと私のこれからの人生を、これからの旅を楽しみにしています。  
私は、真の愛のパワーをあなたたちに差し出します。  
あなたが、愛のパワーを受け取れるくらいオープンであるなら、です。  
愛は、分かち合うことによって大きくなります！

愛と光の中で マイケル